

第2回 PPNシンポジウム

産前産後の 多職種連携

事例から学び
医療・地域・スポーツを結ぶ

2026 9 / 27 日

10:00-17:00 託児あり(要事前申込)

大樹生命保険株式会社 本社24階ホール
〒105-7190 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

参加申し込みはこちら ▶



登壇者紹介



横井 裕之

よこい整形外科 健康スポーツクリニック 院長

大阪医科大学卒業。大阪大学整形外科教室入局後、市立豊中病院、大阪ろうさい病院、住友病院、行岡病院スポーツ整形外科センターなどで研鑽を積む。大阪大学大学院にて運動を介した健康増進について研究し医学博士を取得。2022年、よこい整形外科健康スポーツクリニックを開院。スポーツ整形外科、ウィメンズヘルス、運動器リハビリテーションを専門とし、地域医療とスポーツ支援に取り組んでいる。趣味はサッカーと旅行とスタッフとの学会参加。

山並 絵美

FuncPhysio Physical Therapy NY

アメリカ・ミシガン州育ち。ミシガン州立大学で運動科学を学び、ロングアイランド大学でDoctor of Physical Therapy（理学療法博士）を取得。卒業後はInstitute of Physical Art（IPA）の2年間のレジデンスプログラムを修了し、2019年には認定機能マニュアルセラピスト™（CFMT）資格を成績優秀で取得。現在はニューヨークで臨床に従事し、産前産後ケアをはじめ、女性・男性のPelvic Health（骨盤底機能障害）や整形外科疾患まで幅広い分野を担当している。Herman & Wallace Pelvic Rehabilitation InstituteやBarral Instituteで専門教育を継続し、最新のエビデンスに基づく評価・治療を実践。一児の母として自身の妊娠・出産経験も臨床に活かしながら、日本では医療・運動指導者向けセミナーを通じて、アメリカのPelvic Health分野における最新知見を発信している。



山崎 健一

国民健康保険 依田窪病院リハビリテーション科

長野県在住。平成8年理学療法士免許取得。
一人職場での勤務を経験しながら、平成15年より現在の職場に勤務し、地域包括ケア領域における予防理学療法に従事している。
現在は、ウィメンズヘルス（母子保健・子育て支援事業への参画および骨盤底リハビリテーション）およびメンズヘルス（男性更年期症状〈AMS〉や骨盤底機能を中心とした中高年男性支援）にも取り組んでいる。



山崎 愛美

よしかた産婦人科 産前産後リハビリテーション研究会

宮崎県出身。宮崎大学教育学部卒業後、2005年に理学療法士免許を取得し、総合病院のリハビリテーション外来に勤務。女性の身体づくりや産前産後ケアの分野に注力し、2014年に「Women's Body Labo」を設立。同年、「さんごのからだプロジェクト」にて運動器の健康日本賞を受賞。2016年より「よしかた産婦人科」にて産前産後リハビリテーション外来を担当し、2017年からは「田園調布オーリブレディースクリニック」にて骨盤底リハビリテーション外来に従事している。
また、産前産後リハビリテーションを日本に広めるため、2012年から全国各地で医療職向け講座を開催し、医学書の執筆や監修にも数多く携わる。2026年には「株式会社CoNCa」取締役就任。理学療法士としての専門性を活かし、女性の健康支援と産前産後ケアの普及に尽力している。



主催：シンポジウム実行委員会
後援：女性スポーツ研究センター

参加費：正規 14,000円 / 早割 12,000円 / 学生 8,000円

<https://www.women-in-sports.jp/symposium/2026>

産前産後の多職種連携

～ 事例から学び 医療・地域・スポーツを結ぶ ～

登壇者紹介 | パネルディスカッション



館 舞耶

助産師・保健師・看護師

学生時代の運動経験と助産学を通して、運動習慣のある女性が心身の健康を保ちながらその人らしく運動を継続するためのサポートをしたいと考え、分娩施設の勤務に合わせWISの産前産後アスリートサポート事業に従事。
助産師視点から、分娩に向けた準備や授乳・育児相談などを行っている。

山縣 美紗

森永製菓inトレーニングラボ 管理栄養士

2023年よりトップアスリート専門施設「森永製菓inトレーニングラボ」に所属し、柔道、スノーボード、プロ野球、eスポーツなど多岐にわたるアスリートへ栄養サポートを行っている。2025年に女性アスリートのライフステージに寄り添った支援を目指し、株式会社WISの産前産後アスリートサポートスペシャリスト®を取得後、産前産後アスリートサポート事業に従事している。



猿田 奈央

MTXスポーツ・関節クリニック 理学療法士

2007年に理学療法士国家資格取得。MTXスポーツ・関節クリニック勤務。自身も二度の出産を経験しながら15年ほど前よりウィメンズヘルス理学療法の学びを深める。9年前より当時の勤務先にて医師とともに「産後外来」を立ち上げる。一般整形外科疾患やスポーツ障害のリハビリテーションに携わる一方で、妊娠・出産を契機に発症した女性の治療にあたる。特に産後の腹直筋離開の評価と治療に力を入れている。近年は泌尿器科にて骨盤底リハビリテーションにも携わっている。また民間企業と連携した企画も複数実現し、医学、整形外科の観点から、産後や更年期など女性特有の機能障害について発信している。また、昨年より都内の商業施設にて産後トレーニングクラスの講師も務めている。



平井 晴子

株式会社WIS 代表取締役社長 アスレティックトレーナー

株式会社WIS代表取締役。アスレティックトレーナーとしてトップアスリートを支援するとともに、女性がライフステージを通してスポーツを続けられる環境づくりに取り組む。現在は順天堂大学大学院博士後期課程にて産後アスリートの競技復帰をテーマに研究を行い、医療・研究・現場をつなぐ立場から、女性スポーツの課題解決と実践に携わっている。



門間 麻有

NPO法人群馬プライムス（コーチング/マネジメントスタッフ）

7人制、15人制ラグビー元日本代表（2017年15人制W杯出場、2021年東京オリンピック出場）一度現役を引退した後、二児の母となり、現在は競技復帰を目指して、トレーニングに取り組んでいる。WISによる産前産後コンディショニングのサポートを受けながら、アスリートとして新たな挑戦を続けている。



主催：シンポジウム実行委員会
後援：女性スポーツ研究センター

参加費：正規 14,000円 / 早割 12,000円 / 学生 8,000円

<https://www.women-in-sports.jp/symposium/2026>